

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ④観光分野(6/6)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
千年の草原の継承と創造的活用総合特区 (阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町)	3.3	3.5 <u>進捗度</u> ・草原面積、野焼き再開牧野数 97% ・観光入り込み総数、阿蘇地域の宿泊者数《定性的評価》 ・あか牛肉料理認定店数 90% ・草原再生募金額 23% 等	2.6 <u>財政支援等</u> ・草原案内人システムの整備 ・草原活用連携促進事業 <u>地域独自の取組</u> ・ASO環境共生基金事業 ・入湯税込観光活用事業 等	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・当地域は、地震や噴火などの自然災害の直撃を受けて予定通りに事業が進捗していない面もあるが、阿蘇地域の本質的な魅力を高めるための取り組みの方向性は大変望ましいと高く評価している。厳しい状況下にあっても、次の打ち手を模索しながら取り組まれた姿勢は高く評価したい。評価指標の設定も事業に即して行われており、他の特区への模範となっている。 ・噴火及び地震という自然災害により観光利用が大きく落ちこんでいる中で、29年度に実施された来訪者モニタリング調査で満足度およびリピーター率ともに目標値を超えたということは、今後の展開に期待を持たせるものである。 ・草原利用者の増加に向け、新しい高付加価値コンテンツの開発が必要である。例えば、様々な「草原体験観光」「草原学習観光」に関わるコンテンツを「草原ガイド」付の商品として着実に実現していくこと、そのための体制整備を急ぐことが求められる。